

科学の不思議 身近に



「」を設立した。科学報道の論評など、多岐にわたる方法で情報発信する。西川さんは「若い人病など科学に関する話には21世紀の科学の本質について、西川さん質を捉え、自分で考え」

STAP細胞の論文問題などで、最近よく目にする科学のニュース。だが、専門性の高い情報を理解するのは難しい。研究者としてくる神戸市拠点のNPO法人が、インターネットの動画配信サイトやワークショップを通じて、科学の情報を正しく、分かりやすく社会に伝える活動を目指している。メンバーは専門家と市民との距離を縮めたい」と話す。

(藤森恵一郎)

神戸のNPO情報発信

神戸・三宮のビルのかみ砕いて説明。その一室。NPO法人「オールアバウト・サイエンス・ジャパン」の「ニコニコ動画」で代表理事で、さまざま聴けるようにした。細胞研究の第一人者、分かりやすい」。パソ



①インターネットでの中継に向け、高校生らと生物の発生について話す西川伸一さん(左から2人目)＝神戸市中央区雲井通5
②希少難病の薬をめぐる、生徒が考えたワークショップ＝2013年7月、神戸市立葺合高校(オールアバウト・サイエンス・ジャパン提供)



幹細胞研究の第一人者指南 「若者自ら考える力を」

物には興味がなかった区副センター長など不足している状況に直として患者だけではなく「期待する。西川さんは、京都大でいたが、患者数が少を務める一方、情報発信や専門家と市民との対話などを目的に、研センター(神戸市中央れがちなことや、正し研究者仲間らと「オールでの講演、論文の翻訳、者」と語り合う。

い医療情報が患者側から解説。対話の相手る力を身に付けてほし